

みんなが明るく楽しく 学び合える学校生活のために

旭市では、子どもたちが伸び伸びと充実した学校生活を送ることができるよう、さまざまな支援を行っています。

今回は「巡回相談」と「スクールカウンセラー」について紹介します。

お子さんの教育などについて気になることがあれば、一人で悩まずに相談しましょう。



【巡回相談】

「計算は得意、でも漢字だけが苦手」「友達付き合いがうまくいかない」「じっとしているのが苦手」など、お子さんが自分を責めたり、不安に感じたり、悩んだりしていませんか。また、集団の中でのお子さんの様子を心配に思うことはありませんか。

市では専門の相談員が保育所(園)、認定こども園、幼稚園、小中学校を訪問して助言を行う巡回相談を実施しています。相談内容に応じた教育方法や支援体制などについて、教育現場や保護者にさまざまなアドバイスをします。

巡回相談を希望する場合は、学校教育課指導班(☎55-5726)に電話するか、通っている保育所(園)、認定こども園、幼稚園、小中学校から申し込んでください。

【スクールカウンセラー】

スクールカウンセラーとは、学校などで心のケアを行う心理の専門家です。さまざまな心の問題を抱える児童生徒へのカウンセリングや、保護者との相談のほか、学校職員への指導・助言などを実施しています。また学校に関する悩みだけでなく、その背景にある家庭環境の問題や、個人の心身の問題などにも幅広く対応しています。

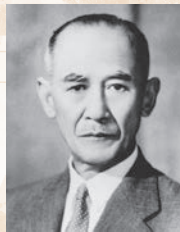
各中学校と4校の小学校に1人ずつ配置されているほか、海上支所にある教育委員会内のカウンセリングルームでは、3人のスクールカウンセラーが相談に対応しています。

カウンセリングや教育相談を希望する場合は、中学生は通っている学校へ、小学生は通っている学校か学校教育課指導班(☎55-5726)に申し込んでください。

あさひ輝いた人々 第26回

大企業の社長と 飯岡愛

いしげ いくじ
石毛 郁治 (1895~1981年)



石毛郁治は明治28(1895)年、飯岡で生まれました。小学校時代は成績優秀で、2学年飛び越えて学習していたそうです。

明治45(1912)年、飯岡小の代用教員*となり1年間勤めた後、東京高等工業学校(現在の東京工業大学)に入学しました。

大正6(1917)年、三井鉱山株式会社に入社し、九州炭鉱事務所に勤務しました。その後、大企業である東洋高圧工業株式会社に入りました。給与や地位には少しも不満を言わず、仕事第一、研究第一に努力していたそうです。その業績が認められ、昭和22(1947)年、東洋高圧工業株式会社の社長になり、長年務めました。

郁治は細かな心配りができ、創造力に富み、それを実現するために努力を惜しまない人間でした。また明るい性格でもあり、多くの人に親しまれ、部下からも多大な信頼を得ていたそうです。

最大の功績は、完全循環式尿素製造方法と呼ばれた肥料用尿素の製造技術の開発です。それまで尿素は医薬品のみに使われていましたが、農業肥料に使えるよう改良し、安く大量に生産できる技術を開発しました。当時、尿素を肥料として使用したのは日本が初めてだったため、この製品は海外にも輸出されました。

これらの功績により、化学技術賞や紺綬褒章、藍綬褒章、勲二等旭日重光章など数々の栄誉を受けました。

飯岡を離れた後も郷土愛が強く、飯岡小、飯岡中の講堂や、横田会館の建設に多額の寄付をするなど、多大な貢献をしました。昭和40(1965)年には飯岡町名誉町民第1号になりました。



飯岡小の講堂であいさつする郁治

*旧制小学校で免許状を持たずに勤務した教員。